

第15回 2025年デフリンピック大会に係る大会準備連携会議
(議事概要)

1 開催日時

令和8年3月25日(水曜日)

2 開催方法

書面報告

3 構成員等

○構成員

一般財団法人全日本ろうあ連盟	久松 三二	常任理事・事務局長
東京都	渡邊 知秀	スポーツ推進本部長
スポーツ庁	小川 哲史	参事官(国際担当)
公益財団法人日本オリンピック委員会	星 香里	常務理事
公益財団法人日本パラスポーツ協会	藤原 正樹	常務理事
弁護士	三好 豊	
公認会計士	中村友理香	

○事務局

一般財団法人全日本ろうあ連盟
東京都

4 要旨

【資料説明】

○第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025 大会報告書について

- ・1月に開催した第14回会議においてもご説明したところであるが、大会運営の軌跡を記録し、大会関係者へ報告するとともに、大会を通じて得た経験等をレガシーとして後世に継承していくことを目的として作成してきた大会報告書が、この度完成した。
- ・3月25日からホームページ上で公開している。

【意見交換】

○東京都 渡邊本部長

- ・大会報告書や1月末に東京都が公表した「ビジョン2025 レガシーブック」でも取りまとめているとおり、今大会を通して生まれた様々なレガシーがある。
- ・今後、東京都で予定されている様々なスポーツ大会においても、今大会を通して生まれたレガシーはもちろん、これまで東京都に蓄積されたスポーツ大会の運営に関するノウハウをもっとしっかりと引き継いで行けるよう取り組んでまいりたい。

- ・東京都としても、デフスポーツのさらなる発展と、誰もが輝くインクルーシブな街・東京の実現に向け、引き続き取り組んでいく。引き続き皆様の一層のお力添えをお願いする。
- ・最後に、これまで東京 2025 デフリンピックの開催に向けて支えてくださった皆様に、改めて深い敬意と感謝を表す。

○公益財団法人日本オリンピック委員会 星常務理事

- ・2025年デフリンピックの大会報告書を拝見し、より広い範囲に効果が及ぶよう緻密に計画され、様々なステークホルダーと連携して着実に進められたことがよくわかった。改めて、単なるスポーツの大会という位置づけにとどまらない素晴らしい大会だったと思う。
- ・デフスポーツの認知度向上、スポーツ観戦への意欲喚起、UC技術の発展、ボランティアの推進、東京都の魅力発信など様々な成果を上げられ、運営にあられた皆様に敬意を表す。
- ・この成果を次のステージに繋げていくことが重要と考えるので、この大会が聴覚障害を有する子どもたちのスポーツ参加機会拡大につながり、将来のデフアスリートが誕生しつづけること、きこえる人ときこえない人がより一層コミュニケーションをとれるようになること、UC技術が高齢者のQOL向上や国際交流などにも活用が広がること、デフスポーツの大会が全国各地で開催されることなどレガシーが継承されるように引き続きの取組をお願いしたい。ありがとうございました。

○公益財団法人日本パラスポーツ協会 藤原常務理事

- ・素晴らしい報告書の作成、どうもお疲れさまでした。感動の大会の記憶がよみがえった。
- ・P30の「数字で見る東京 2025 デフリンピック」のページだが、各項目の実績のうち、過去最高、過去最多が確認できる項目があれば、それを記載するのが良かったと思う。

○中村公認会計士

- ・大会報告書の取りまとめ、ありがとうございました。皆様のご尽力に敬意を表す。
- ・個人的には、UC技術の発展に着目しており、社会実装とその普及に期待している。
- ・大会準備連携会議の委員として名前を記載していただいたことに喜びと誇りを感じており、改めて関係者の皆様方に感謝申し上げます。